

2007/10/03

聴講歓迎 参加無料

カフェサロン

国際文化比較論－文化・科学・技術と教育の関わり

シンビオ社会研究会

担当理事： 久郷 明秀、 杉万 俊夫

経済の効率化やグローバリゼーションの浸透で、かつての日本の伝統行事は次々と消えていきました。例えば「正月 3 日休み」は返上され大型商業施設は元旦から営業を始め、企業でも仕事始めの日に晴れ着の社員が集う習慣はめったに見られなくなりました。日本社会の伝統が消失し、人々の時間的、精神的余裕が少なくなってきたようです。町内会活動、企業の社内行事に無関心な人、コミュニティとの関係を煩わしいと参加しない人が多くなってきました。本来濃密なはずの夫婦、親子、兄弟などの関係も、希薄になってきたところか、逆に昔には考えられなかった凶悪な近親犯罪が毎日のように新聞、テレビで報道されます。このような風潮を憂いて、政府など各所で様々な対策が検討されています。これは日本だけの風潮でしょうか？

今回のシンビオ社会講演会では、「共生」の原点であるコミュニケーションに立ち返り、人々のコミュニケーションのあり方について国際文化比較という視点から、基調講演と国際パネルを企画致しました。講師、パネリストの方々には日本で暮らす外国の方々の目を通し、またかつて外国で生活されたご経験をもとにお話しいただきます。日本人、日本社会のコミュニケーションの良いところ、これはどうかと思うところを発見し、外国の教育と比較して日本の教育のあり方、ひいては科学技術と社会の共生のあり方について共考する場としたいと期待しています。奮ってご参加ください。

日時 平成 19 年 11 月 2 日 (金) 14:00-17:00

場所 芝蘭会館 2階 第2研修室

〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮 11-1 電話 075-771-0958

[\(芝蘭会館 案内図 参照\)](#)

プログラム

1. 基調講演 (50分)

Current Research in Cross-Cultural Social Psychology: Individuality and Communication in Japan and the United States

「横断文化社会心理学の現在の研究：日本と米国の個性とコミュニケーション」

講師 Dr. David Dalsky (京都大学 客員講師)

司会 竹内 みちる (京大・人間・環境学研究科博士課程 1年)

2007/10/03

杉万 俊夫 先生 (京大・人間・環境学研究科 教授)

英語により講演されますが、司会の竹内さん、杉万先生から要所で要点を日本語で紹介されます。[\(講師略歴、講演要旨 参照\)](#)

休憩 (20分)

2. パネルディスカッション (全体 1時間50分)

異文化コミュニケーション:

日本の外国人、外国の日本人~私の体験から相互啓発の道を提案する

パネリスト : Dr. David Dalsky (京都大学大学院人間・環境学研究科 客員講師)

Dr. Per Christer LUND (ノルウェー大使館科学技術参事官)

Ms. Claire Czerny (フランス電力会社日本駐在所代表夫人)

川本 義海 先生 (福井大学准教授)

コーディネータ : 竹内 みちる (京大・人間・環境学研究科博士課程1年)

杉万 俊夫 京都大学教授

パネルは英語で行われます。コーディネータの司会で適宜パネリストの論点を日本語でも要約してパネルを進行いただきます。

●参加申込 : 平成19年10月26日までにメールをお願いします。

シンビオ社会研究会 事務局 藤野宛 (fujino@uji.energy.kyoto-u.ac.jp)